

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年 1月 18日

回答: 35名(うち未記入: 1名)

事業所名: 児童放課後デイサービスらいずわ〜く

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者の荷物(上着など)を置くスペースが少ない。	○: 26人 △: 4人 わからない: 4人 本人が利用しているところを見たことがない。	上着をかけれる場所を確保していきます。
	2 職員の適切な配置	スタッフの急な休みなどがあると対応が大変になるときがある。	○: 22人 △: 4人 わからない: 8人 本人が利用しているところを見たことがない。	十分なスタッフの確保に努めていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	現状では特別な配慮が必要な方がいてない。	○: 21人 △: 5人 わからない: 8人	特別な配慮が必要な方が出てくれば行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ感染症のこともあり、清掃・消毒を徹底している。	○: 32人 わからない: 2人	引き続き継続していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	前年度よりもミーティングの回数が増えている。	/	引き続き職員が意見できるようなミーティングを行っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。	/	必要であれば検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナ感染症の影響で機会が減っている。	/	感染状況を見ながら行っていきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	支援会議の回数が前年よりも増え職員間での共有はできている。	/	引き続き支援会議で利用者一人一人のアセスメントの共有も図っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の状況などを見ながら作成している。	○: 31人 今、子供に必要なスキル等を的確に支援計画を立てていただいているので満足しています。 △: 3人 時間が足りなくてできていないこともあるのでは・・・?	引き続き行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画ではできるだけ具体的な項目を記入することを意識している。	/	引き続き行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	なかなか計画を確認しながらの支援は職員全員ができていない。	○:32人 △:2人 時間が足りなくてできていないこともあるのでは・・・?	支援計画の共有を今まで以上に行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングをしながら行っている。		継続して行っています。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	定期的なミーティングをしながら行っている。	○:24人 △:3人 パソコンをやらせていただいているがローマ字が読めていないなど・・・ わからない:7人	継続して行っています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	定期的なミーティングをしながら行っている。		継続して行っています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、朝礼を実施し確認している。		引き続き行っています。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	雑談での共有や次の日の朝礼で共有している。		引き続き行っています。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、朝礼で記録の確認をし内容も共有している。		検証については支援会議でより深めていけるようにしていきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	各担当で管理し見直しをしている。		継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議があれば参加している。		必要であれば参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童がいません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童がいません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	特に行っていない。		今後、必要なケースがあれば行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	情報提供書の準備は行っている。必要であれば提供している。		引き続き行っている。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修についてはその都度、案内はしているがコロナ感染症のこともあり減っている。		感染状況を見ながら参加していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	できていない。	○:10人 △:2人 ×:4人 わからない:18人	機会があれば行っていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	2か月に一度「カフェらいず」という名目で保護者の集まる会をしている。		コロナ感染症の状況を見ながら次年度も継続していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にお伝えしている。	○:33人 △:1人	継続して説明していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	定期的な面談の機会を設け説明している。	○:31人 △:1人 ×:1人 わからない:1人	コロナ感染症の状況を見ながら引き続き行っていきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	行っていない。	○:19人 △:2人 ×:1人 わからない:11人	研修会などの実施を検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳やLINE、電話などでコミュニケーションを図っている。	○:31人 △:2人 わからない:1人	引き続き継続していきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	相談があれば対応している。	○:27人 コロナで難しい面があるなかでも面談があり、感謝しています。 △:3人 ×:2人 わからない:1人	必要があれば引き続き対応してきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2か月に一度、保護者が集まる会「カフェらいず」を実施しています。	○:25人 △:2人 ×:3人 わからない:4人 開催時が土曜日の為、仕事でなかなか参加できない。	コロナ感染症の状況を見ながら今年度も行っていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時にお伝えしている。	○:23人 わからない:11人 苦情を言ったことがないのでわからない。	引き続き伝えていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳やLINE、電話などを使い意思疎通を図っている。	○:32人 △:1人 わからない:1人	引き続き行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、利用予定や行事ことなどは案内している。	○:26人 △:2人 わからない:4人	引き続き行っていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員の入職時に誓約書を交わしている。個人ファイルは鍵付きの書庫に保管している。	○:28人 △:1人 わからない:4人	継続して行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時にお伝えしている。	○:24人 △:1人 ×:1人 わからない:7人	継続して伝えていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難などについては定期的に話をするが避難訓練の実施はできていない。	○:12人 △:1人 わからない:20人	避難訓練を実施していく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	外部の虐待防止研修などに参加している。		引き続き行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時にお伝えしている。		引き続きお伝えしていきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	基本的に食べ物を提供していない。必要があれば事前にヒアリングするようにしている。		引き続き継続していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間では共有している。		積み重ねができるように努めていきます。